



和小だより

弟子屈町立和琴小学校

6月28日 発行者 校長 大山道弘

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



運動会の先に

校長 大山 道弘

初夏の爽やかな風が心地いい季節となりました。6月は2週目頃から最高気温が20℃を超え、元気に屋外で活動する子どもたちの姿を見ることが出来ます。

6月15日の運動会は曇天でしたが、運動するには適した気候の下、無事終了することができました。お忙しい中、温かい声援と親子種目や自治会種目への出場など、ご協力ありがとうございました。

運動会では、保護者の皆様にはお子さんの成長に喜びを感じていただけたことと思います。本校は、自分のお子さんだけでなく、他のお子さんの成長も喜び合える関係性があり、ありがたく感じております。

運動会では、体力向上だけでなく、「自主・自治の意識作り」としてリーダーの育成や集団での役割などを学びます。4月から運動会という大きな行事の成功を目標に、集団としての取り組み方を学びます。また、子どもたちの主体性を育てるため、運動会の競技内容を話し合いで決めます。

運動会の実行委員会や練習だけでなく、各教科の学習での話し合い・練り合いの活動や当番活動なども大切な学びの場です。集団の中での役割の理解と活動を通して学んだことが、運動会の取組につながります。

今年度は6年生がいない中でしたが、最高学年の5年生を中心に、子どもたちが協力して話し合ったり練習したりする姿が見られました。「立場が人を育てる」という言葉がありますが、誰もがみんなの前で話したり、まとめたりすることが得意だとは限りません。縦割り班会議や実行委員会、チーム練習のときに進行が思うようにいかなかったり、低学年に上手く伝えられなかったりするなど、苦勞する姿も見られました。しかし、仲間のために責任をもって根気よく取り組んだことで、一人一人が生き生きと活躍した運動会につながることができました。

本校では、高学年になるとリーダーシップが求められます。学級の数が多い学校では経験できないことが、和小ではできます。もちろん子どもにとって過度の負担は良くありません。その子らしいリーダーシップを意識して指導しています。

運動会の終了が学びの終わりではなく、1年間を通したよりよい集団づくりの学びのスタートになります。今後、運動会で培われた力を日常の児童会活動等で生かしながら、次の目標の学習発表会へと向けて高めていけるように、引き続き指導してまいります。

< 7月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	月	ふるさと遠足 (予備日)	14:00	弁当
2	火	午前授業	12:45	○
3	水	全校集会 水泳授業	14:00	○
4	木	図書館バス 参観日・全体懇談・学級懇談	14:00	○
5	金	避難訓練 ALT	14:00 14:55	○
6	土	夏のふるさと体験学習	11:15	×
7	日	週休日		×
8	月	清掃週間 (~19日)	14:00 14:55	○
9	火	ALT	14:00 14:55	○
10	水	体力テスト	14:00	○
11	木	避難訓練 (予備日)	14:00 14:55	○
12	金	児童委員会 ALT 水泳授業	14:00 14:55	○
13	土	週休日		×
14	日	週休日		×
15	月	海の日		×
16	火	ALT	14:00 14:55	○
17	水		14:00	○
18	木	図書館バス	14:00 14:55	○
19	金	クラブ 夏のふるさと体験学習 (予備日)	14:00 15:15	○
20	土	週休日		×
21	日	週休日		×
22	月	大掃除	14:00 14:55	○
23	火	1学期終業式 午前授業	12:45	○
24	水	夏季休業開始 (~8月22日)		×
25	木	弟子屈町いじめ撲滅サミット		×
26	金			×
27	土	週休日		×
28	日	週休日		×
29	月			×
30	火			×
31	水			×

6月の和っ子

■屈斜路自治会・和琴小学校合同運動会

<スローガン>

仲間と楽しく初めてのことに挑戦しよう！

15日(土)に令和6年度の運動会を行いました。今年度は、自治会役員・PTA役員・和琴小学校で慎重に検討した結果、昨年度と同規模で開催することといたしました。

一人一人がしっかり目標を決め、練習や準備を一生懸命がんばって迎えた運動会当日。開会式では、児童会長がスローガンに込めた思いを伝えてくれました。また、1年生の4人は元気な声で堂々と選手宣誓をすることができました。

徒競走ではどの子もゴールに向かって精一杯走りました。「玉入れ」「綱引き」「ぼくのチームは何色?」「リレー」の団体種目は保護者とチームを組んで行いました。また、「玉入れ」「綱引き」「ぼくのチームは何色?」は地域の皆様の迫力に、子どもたちも大いに盛り上がりました。

今年、新種目「わこと2024」もありました。ルールや内容等、実行委員会の児童みんなで考えを出し合い、意見を尊重しながら決めました。



練習の成果を發揮した「和っ子ソーラン」。親子で楽しく取り組んだ「屈斜路は摩周メロンの名産地!」。競技、準備等最後まで本

当にみんながよくがんばった運動会になりました。

当日は、岩原教育長をはじめ多くの来賓の方々にもお越しいただき、子どもたちの競技や演技に取り組む姿に声援をいただくことができました。また、前日の会場準備では、自治会役員や保護者の皆様にご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



■いじめアンケート実施しました

●いじめとは？

児童等に対して、一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの(いじめ防止対策推進法より)

学校は集団生活の中で様々な事を学ぶ場です。多様な育ち方をしてきた児童が集まり生活をする、衝突やトラブルが原因で心身の苦痛を受ける事はいつでも起こり得ます。苦痛に寄り添って対応していく事はもちろんですが、それを回避、又は解決にもっていく態度や考え方を身に付けることも集団生活の中で学ぶべき事と考えています。

さて、5月末に実施したいじめアンケートにおいて、本校では「いじめ行為」として認知できる事例はありませんでした。だからといって軽視せず、引き続き未然防止に努めるとともに、状況が悪化しないよう指導や見守りを続け、子ども達がより良い人との関わり方を学ぶきっかけとしたいと考えています。

いじめには、加害意識がない場合や、被害にあっても否定したり自己の責任を口にしたりする場合があります。「いじめアンケート」のみならず、今後も他のアンケートや面談、見取りなどを通して事実把握に努め、被害者の苦痛に寄り添った対応ができるよう心がけていきます。それと同時に、他者を思いやる心にあふれ、いじめ行為を行わない、認めない雰囲気为学校に作り上げていきたいと思ひます。

PTA古紙回収 14日(金)

たくさんの地域の方々に古新聞・古雑誌、アルミ缶等をお持ち寄りいただきました。今回の回収で得



られた収益は、運動会の景品代やPTAの活動に使わせていただきます。地域の皆様、ご協力いただき本当にありがとうございました。

和琴小ホームページ <http://163.44.3.160/app-def/S-102/washou/>

和琴小学校の取り組みや児童の活躍等を随時紹介していきます。

PTAや地域の話も掲載してありますので、ご一読のほど、よろしくお願ひいたします。

